

ベトナム情報レポート（2024年1月31日）

ベトナムビジネスサポートデスク
（株式会社NCネットワーク）

【2023年のベトナム経済指標】

2023年12月末、ベトナム統計総局が1年間の経済指標を報告しました（暫定値）。

2023年のGDP成長率はベトナム政府の当初目標である6.5%前後には届きませんでした。世界的には高いレベルにある5.05%という結果でした。分野別で見ると、農林水産業は通年で安定しており平均3.83%、工業・建設業は第1四半期-0.34%から第4四半期は7.35%まで回復を見せて平均3.74%、サービス業は通年で高い成長率を維持して平均6.82%でした。そのうち、製造・加工業は世界不況の煽りを受けて、2011年以来最も低い成長率（3.62%）となっています。一方で、卸売・小売業は8.82%、運輸・倉庫業は9.18%、金融・保険は6.24%、宿泊・飲食は12.24%と高い伸びを見せました。経済構造は、農林水産部門11.96%、工業・建設部門37.12%、サービス部門42.54%、製品税8.38%となっています。一人当たりGDPは4,284.5米ドルで2022年から160米ドル上昇しました。

企業活動については、2023年に新規設立、操業復帰した企業は21万7,700社（月平均1万8,100社）で前年比4.5%増。廃業した企業は17万2,600社（月平均1万4,400社）で同20.5%増でした。

2023年のサービス部門について、商品小売総額および消費サービスからの売上額は、前年比9.6%増の6,231.8兆ドン（2,550億米ドル）に達しました。物価上昇要因を差し引くと実質7.1%増となります。2023年にベトナムに入国した外国人観光客数は1,260万人となり、2023年の目標であった800万人を大幅に超えました。ただし、この数は2019年の70%相当で、依然としてコロナ前の状況には戻っていません。ベトナムから外国への出国者数は500万人で、前年の2倍でした。

外国直接投資（FDI）について、2023年の新規登録、増減資、出資・株式購入の総額は約366億米ドルで前年比32.1%増でした。投資総額を国別で見ると、1位シンガポール（68億米ドル）、2位日本（65.6億米ドル）、3位香港（46.8億米ドル）、4位中国（44.7億米ドル）、5位韓国（44億米ドル）でした。投資実行総額は前年比3.5%の約232億米ドルで、ここ5年間で最も高い額となりました。

2023年の貿易収支は、輸出総額3,555億米ドルで前年比4.4%減、輸入総額3,275億米ドルで同8.9%減、280億米ドルの貿易黒字でした。最大の輸出国は米国（968億米ドル）、最大の輸入国は中国（1,116億米ドル）です。